

「森林体験学習」をご提供します

お問い合わせ：学習館☎0195-78-2092

岩手県内の小学校・中学校・高等学校を対象に、県民の森の豊かなフィールドを利用した「森林体験プログラム」を学校毎に作成し、無料で提供する事業を始めました。プログラムのひとつに、木の実を使った工作体験（有料）を組み込むことが条件です。森の中の活動を通して、自然の素晴らしさ、楽しさを体感することはSDGsを学習する機会にもなります。

また、森林ふれあい学習館は、森林・林業・木材利用の展示が充実。館内を見学するだけで森林学習が深まります。先生方の視察・体験等も承りますので、お気軽に学習館までお問い合わせください。

- 【プログラム例】
- ・フィールドビンゴ（グループで葉っぱや木の実を探してビンゴを完成）
 - ・トチの実の不思議（トチの実を使って、手を洗ってみよう）
 - ・誰が食べた？どう食べた？（動物や虫の食痕を探します）
 - ・県民の森散策（岩手山麓の豊かな自然を五感で味わいます）



森の恵みを楽しみませんか？

ご予約はホームページをご覧ください。お問い合わせ：学習館☎0195-78-2092

晩秋の森さんぽ

2024年11月2日（土）

10:00～12:00
（昼休憩なし）

【定員】 10名
【参加費】 500円
【集合】 9:45までに森林ふれあい学習館

岩手山麓の最後の紅葉や、残った木の実、落ち葉など、晩秋ならではの森の贈り物を楽しみます。

【初心者対象】

【持ち物】 ・飲み物・帽子・防寒具
・雨具・ザックなど
【服装】 散策できる服装・靴



第4回 木工教室

ご予約はホームページをご覧ください。お問い合わせ：学習館☎0195-78-2092

干支の置物『へび』

2024年11月23日（土・祝）

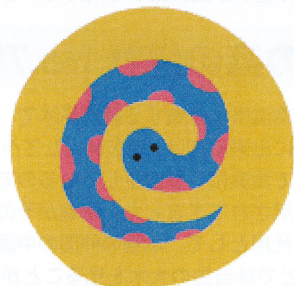
10:00～12:00
（昼休憩なし）

【定員】 10名
【参加費】 2,000円
【会場】 木材工芸センター

恒例の県民の森の縁起物。来年の干支は「へび」です。暖かみのある木の置物でお正月を迎えませんか？

【初心者対象】

【持ち物】 軍手など
【服装】 作業できる服装



デザインは後日発表。お楽しみに！

森林ふれあい学習館 ギャラリー展示

お問い合わせ：学習館☎0195-78-2092

ぐうわ 寓話『サルと人と森』

県民の森と啄木

～案内人 啄木ソムリエ・山本玲子～

2024年9月5日（木）～
11月4日（祝・月）

人間の墮落を警告する石川啄木の寓話を写真と共にご紹介いたします。



無垢の始よりこの世に
ありたるものは
真と美と生命

【山本玲子プロフィール】

啄木ソムリエ。1957年岩手県生まれ。岩手県立博物館勤務後、財団法人石川啄木記念館に24年間勤務。2013年11月に財団法人解散後、啄木ソムリエとしてフリーの立場で啄木の魅力と感動を伝えるべく活動中。岩手県民の森近くに暮らし、四季を通じて啄木が愛した岩手の自然に親しんでいる。

岩手県森林公園

県民の森だより

2024.

9

Vol.224

発行 岩手県民の森
（公益社団法人
岩手県緑化推進委員会）

【毎月5日発行】



ウダイカンバの落葉が始まる（野鳥の森） 2023/9/12

9月。秋の気配が深まり、紅葉や落葉が始まる季節。深緑だった森が、緑色が薄くなり、黄色に、橙に、赤や茶色と、さまざまな彩りに変化します。いつの間にか半袖では肌寒くなり、空が高くなります。今年は木々の花付きがよく、秋の実りも豊か。森の恵みのお裾分けを楽しみながら、贅沢な時間を過ごしませんか。

岩手県民の森 管理事務所

〒028-7302 岩手県八幡平市松尾寄木 1-515-5 森林ふれあい学習館フォレスト*アイ*

TEL.0195-78-2092 FAX.0195-71-1778

開館時間：9時～16時 火曜休館（祝日の場合翌日振替）

（旧Twitter）
@forest_iwate



実りの季節

今年も実りの季節がやってきました。県民の森は木の種類が多く、野外でも学習館でもさまざまな木の実を楽しめます。



【ブナの実】 **ブナ科** 2022/10/23
ブナの実には栄養価が高くカシューナッツのような風味でとても美味しいです。動物たちの貴重な食糧、アクがないので人間もそのまま生でも食べられます。ブナは豊凶がはっきりしており、昨年は凶作でしたが、今年は多数の実が順調に育っており、豊作の予定です。



学習館の木の実をつかった工作体験(有料)

園内で採取された木の実や小枝を手間をかけて工作材料として利用できるように仕上げています。学習館では豊富な材料が好きだけ使えます。森の恵みをつかって世界にひとつの作品をつくることで、創造力を養い、室内でも自然に親しむことができます。
※ 随時受付(15時まで) / 工作体験料 500円～ / 団体は要予約

ブナ



【ブナの地面に落ちたどんぐり】 2022/11/16
一般的などんぐりの帽子の部分(殻斗)ですべて覆われています。



【ブナの黄葉のはじまり】 2023/9/24
ある日、すうっと緑色が力尽きたように抜けて、そこから色付いてゆきます。



【ブナの落ち葉】 2022/10/11
葉は、黄色～茶褐色に色付きます。緑がかった黄色や濃い茶色などのグラデーションが美しいです。

ミズナラ



【ミズナラのどんぐり】 2022/9/20
まもなく熟して茶色になります。



【ミズナラの黄葉】 2022/10/24
陽に透けると黄金色に輝きます。



【ミズナラの落ち葉】 2022/10/4
掌くらいの長さの大きな葉っぱです。

トチノキ



【トチノキの実】 **モクレン科** 2022/9/13
まもなく熟して落ちます。



【トチノキの落ちた実】 2023/9/12
地面いっぱいに落ちます。当たると痛いです。



【中から出てきた実】 2023/9/12
堅い殻のなかからクリのような実が出てきます。

県民の森の9月

八幡平では紅葉は山から下りてきます。稜線の紅葉最盛期は9月中旬頃。山麓でも少しずつ色付きが始まります。



【行き合いの空】 2023/9/15
夏の雲と秋の雲が混在して、夏と秋が行き交っている様子を「行き合いの空」といいます。



【オオヤマザクラの紅葉】 2023/9/30
真っ先に紅葉する樹種で、県民の森の紅葉最盛期10月中旬頃には、すでに裸木になっています。



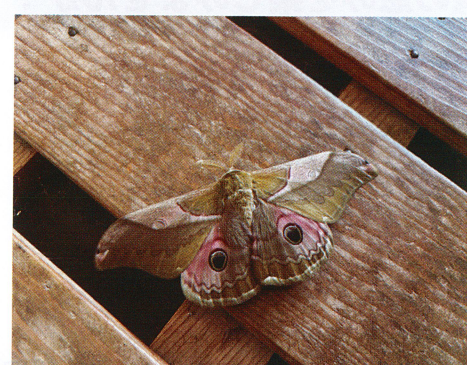
【カツラの落ち葉】 2023/9/4
この時期、カツラに近寄ると甘い香りが漂います。地面に落ちた乾燥した落ち葉からの芳香です。



【オオウバユリの若い実】 2023/9/14
高さ1～2mのユリ。実はだんだん膨らんでピーマンのようです。茶色く熟して乾燥すると裂けて大量の種子が風に乗って飛んでいきます。



【ミヤマタマゴタケ】 2023/9/22
幼菌は鶏の卵より大きくて、殻が割れると巨大なきのこが出てきます。迫力のあるタマゴタケです。園内ではさまざまなきのこに出会えます。



【クスサン】 2023/9/20
秋の大型の美しい蛾です。夜、学習館は森の中にボツンと灯りがあるロケーションなので、朝出勤すると色々な虫たちに出会えます。

県民の森の植物 No.79 オオバボダイジュ(アオイ科シナノキ属) *Tilia.maximowicziana*

北日本の冷温帯に分布する落葉高木で、このあたりに多いシナノキの仲間です。シナノキの仲間は、花序に「苞(ほう)」と呼ばれるヘラ型の葉がついています。花のあとに出来る実は、苞を利用してヘリコプターのように風によって落下します。葉は大きな左右非対称のハート型。シナノキと似ていますが、シナノキより大きくて葉裏に毛が密生しているのが見分けられます。花は黄白色でとても良い香りがするので、多数の昆虫が集まります。秋に出来る実は1cm近くあり、数珠に利用されてきました。釈迦がその木の下で悟りを開いたことで有名な菩提樹は熱帯産のインドボダイジュ(クワ科)のこと。耐寒性が弱く、中国や日本ではその代用として、本種の仲間の中国原産のボダイジュや、寒地では本種が社寺に植栽されることもあります。県民の森では「市町村の森」に植栽、「野鳥の森」などでは自生の大木を見ることができます。

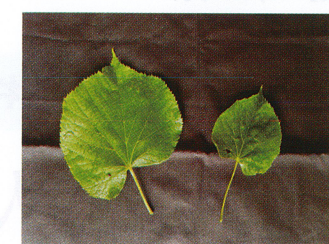
芽吹き 2022/5/6 →



オオバボダイジュ冬芽 2023/2/28



オオバボダイジュ花 2024/6/29



葉【左】オオバボダイジュ 【右】シナノキ



オオバボダイジュ若い実 2024/7/18



実【左】オオバボダイジュ 【右】シナノキ



オオバボダイジュ幹 2022/10/26